

阪神・淡路大震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを推進するために、「ひょうご安全の日のつどい」が開催されました。

六甲砂防事務所は、近畿地方整備局のブースで、阪神・淡路大震災による六甲山での土砂災害と、その後の取組みのパネル展示を行いました。

## 概要

日時：平成25年1月17日(木)

10:00～15:00

場所：HAT神戸 なぎさ公園

主催：兵庫県

## ○阪神・淡路大震災による被災写真などを展示

平成7年の兵庫県南部地震の影響で、六甲山では約770ヶ所で山崩れなどの土砂災害が発生し、さらに鶴甲地区(神戸市灘区)のようにその後の雨によって崩れたものもあって、2,000ヶ所以上に増えました。このように身近に土砂災害の危険性があることを多くの方に知っていただくため、パネル展示を行いました。

また震災後より、六甲山系グリーンベルト整

備事業や、土石流監視カメラ(ライブカメラ)の整備などに取組み、六甲山で土砂災害の被害が出ないように対策を行っていることを、紹介しました。



## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査・品質確保課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL: 078-851-0535

